

第42回八雲町青年問題研究集会 参加者募集

新しい自分・社会への 一步を踏み出そう

職業や年代の異なる様々な人との対話を通して、自分の生活や活動などについて振り返り、これから自分自身のこと、まちのことを一緒に考えてみませんか。



1日目

3月 6日(金) 19:00~21:00

(終了後、希望者で1時間程度の意見交流会を行います。)

記念講演のみの
参加もOK!

記念講演

「若者としてこの地に生きる」

学びと文化、地域生活研究所 理事長

こばやし へいぞう

元鹿児島大学教育学部教授

講師 小林 平造 氏

首都大学東京大学院博士課程終了後、東京学芸大学を経て鹿児島大学教育学部の教授を務め、現在は、一般社団法人 学びと文化、地域生活研究所(LCLL)の理事長を務めています。

また、地域住民の学習活動や青年団運動、公民館、子ども劇場など、地域に根ざした教育・文化活動を主に研究しています。



2日目

3月 7日(土)

9:30~15:30 分科会

15:30~16:00 全体会

2つの分科会（「くらし」、「地域文化」）の中から希望する分科会を1つ選び、参加者とじっくり語り合います。

新たな視点に気付きをもらえるかも！



会場

八雲町公民館

(八雲町末広町 154 番地) ※両日とも



主催・申込み先

申込締切：2/27(金)まで

八雲町教育委員会（主管：八雲町青年問題研究集会実行委員会）

〒八雲町末広町154公民館内 ☎0137-63-3131

✉ syakyo@town.yakumo.lg.jp

二次元コードからも
申込みOK！



青年問題 研究集会って？



青年問題研究集会は、自分の活動や仕事、地域や暮らしの中での問題や、活動の実践を持ち寄り、ひとりの課題をみんなの課題として考える場です。

忙しい現代において、自分の考えをじっくり話すこと・聞いてもらう機会はとても少なくなっていますが、この集会に参加した方が、仲間との語り合いを通して今後の活動や人生がますます豊かになることに期待し、毎年開催しています。

お互いを分かり合うための
「聞き合いの大切さ」を
痛感しました！



(参加された方の声)

参加するには

●記念講演のみ参加の方→主催者へお申込みください（2月27日申込締切）

●分科会 3月7日（金）にも参加の方

→下記2つの分科会から希望する分科会を選び、参加申込書（自己紹介カード）とレポート（任意）を作成し2月27日（金）までに主催者へ提出してください。（事前に資料集を作成し、参加者へ配布するために必要な資料となります。参加申込書は、ハ雲町ホームページからダウンロードするか、申込時に主催者へ請求ください。）

分科会① 「くらし」

くらしは仕事と生活だけで成り立っているわけではなく、住んでいる地域に対して悩みや思いを語り合い、より良いくらしに繋がるきっかけにしましょう。



分科会② 「地域文化」

ハ雲山車行列や各地域の祭りは、町や地域を盛り上げる大事なハ雲の地域文化です。これからも続けていくために、祭りや地域文化に対する想いや考えを語り合いましょう。

